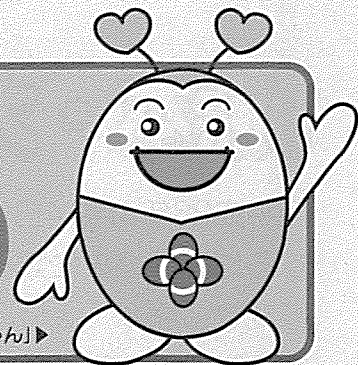


第60号 平成28年6月発行

ボランティアだより

大分市社会福祉協議会マスコットキャラクター 愛称「ふくしのヒロロちゃん」▶



平成28年度 大分市ボランティア連絡協議会総会

日時 平成28年5月19日 午前10時
会場 大分市ホルトホール大分
議事 平成27年度事業報告、決算報告
平成28年度事業計画、予算案、役員改選
講師 大分大学福祉健康科学部長 衣笠 一茂 氏



「ボランティア活動」の基礎となる「生活の視点」について

衣笠先生は「ボランティア活動とは、活動（支援者）する人にとっての「生きがい」でもあるが、活動（支援）を受ける人にとっての「生きがい」を支える活動であるべき！」と、京都弁でユーモアを交えながら熱く語っていただきました。

～これからのボランティア活動への一助として～

「困っている人(事)とは…」

困り事とは、「身体的不自由」「経済的不自由」「環境的不自由」だけではない。人との関わりこそ最も大事な事である！

「生存」と「生活」の違い

「ただ生きるのではなく、自分らしく生きたい。」人生の終盤を迎える高齢者。だからこそ、今までの生き様を踏まえて最後まで生活したい！

他者の「生きがい」を

支える
『生きがい活動』に！

「援助漬けでは…弱い立場の方々にも出来る事があるはず」

被災地における「災害ボランティア」の活動は、被災された方々が元の生活に戻る為に必要不可欠な存在となっていることには間違いはない。しかし、被災者や被災地域で行うべき事も奪ってしまう危険性もあることを理解したい！

大分市ボランティア連絡協議会は、106団体、個人7名の合計4,451名（平成28年4月）の登録ボランティアで構成されています。

総会は140名が参加して行われ、会員研修事業などを通して、今後お互いに交流を深めながら、地域福祉の向上を目指してなお一層連携していくことが承認されました。

今日、地域の生活課題は多様化・複雑化し、大規模災害なども心配される中、ボランティアに寄せられる期待はますます大きくなっています。多くの皆様がボランティア活動に参加され、その輪が広がっていくことが期待されます。

「熊本・大分地震災害」 広がる支援の輪

平成28年4月14日以降発生した熊本地方を中心とする地震は過去に類を見ない余震、本震と続く強い揺れで、熊本・大分県内で大きな被害が出ました。救急隊、自衛隊による救出活動が行われ、その後各地から、様々な支援が行われました。ボランティアによる支援活動には大分からも多くの人が駆けつけ、災害復旧の大きな力となっています。



しかし、余震や天候の変化による被害拡大や倒壊家屋等の二次被害の可能性もあるなかで、今後被災者が少しずつ日常生活を取り戻していくそれぞれの段階においても、ボランティアによる支援が必要になります。引き続き、被災者に寄り添った息の長いボランティア活動が求められています。

災害ボランティア活動に参加される方へ

- ・被災地の災害ボランティアセンターで最新情報を確認してください。
- ・ボランティアは自己完結です。衣・食・住等の準備を万全に。
- ・お住いの社協で、ボランティア活動保険（天災タイプA・B）に加入してください。



救援物資の仕分け作業



中学生による避難所の清掃

「ボランティア元年」

1995年の阪神淡路大震災から21年が経過します。当時は全国から100万人を超えるボランティアが集まりました。その多くはボランティア経験のない人たちでした。1995年はのちに、「ボランティア元年」と呼ばれるようになり、被災者の様々なニーズに応えるべく、専門の知識や経験がなくても、ボランティアだからこそできる支援の形が、広がっていきました。

災害時に備えて！「災害ボランティア登録者」を募集しています

大分市災害ボランティア登録制度 この制度は、事前に登録していただいた個人や団体（企業やグループ等）の方々に、研修や訓練などを通して災害時に災害ボランティアセンター運営スタッフとしてご協力いただくものです。

皆様方の登録をお待ちしております。

お問合せ先 地域福祉課 大分市ボランティアセンター (097)547-7419

ボランティアグループの活動紹介

うーたの会

大銀ドーム北東約1kmに位置する「うーたの里」は、失われつつある地域の自然保護を目指した里山ビオトープ。

昭和40年代中頃に減反政策などにより急激に荒廃した3haのこの谷あいの里山再生を始めてから10年が経過しました。会員42名、県内ボランティア、近隣中学生、近隣小学校PTA、大学生、ボーイスカウト5団など、多様な分野、世代を横断した「ふれあい」の活動を通して、稀少な植物の再生・保全に取り組み、ホタル、トンボ・チョウ等の昆虫類、野鳥類等が残された貴重な生息地として集まっています。そしてホタル観賞会、ハンゲショウ観察会、自然観察会等による地域コミュニ



ティづくり、子どもの支援の役割を担っています。

昨年10月、皇太子殿下御参列のもとに開催された全国育樹祭（於：岐阜市）において、「ふれあいの森林（もり）づくり賞」を受賞しました。自然のバランスを崩さない大分市の稀少な「まちなかの里山ビオトープ」の保全維持を念頭に「持続可能なうーた10年計画」に挑戦を開始しています。

代表者 神宮司 昭夫



大分そろばん指導協議会

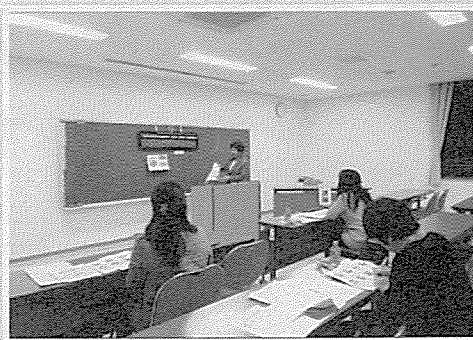
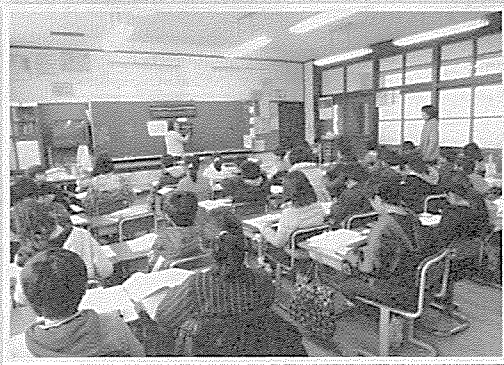
長年の塾でのそろばん指導経験を活かし、小学校3学年算数科「そろばん学習」を支援しようと、平成14年にボランティアで「そろばん講師派遣」を行う協議会を設立しました。今は、年間に小学校36校で、1クラスに1名派遣し、3～4時間程度児童にそろばんを教えています。

現在、設立して15年目を迎え、会員は27名、日々研鑽に努めながらそろばんの「よさ」を伝えようとの使命感をもって取り組んでいます。

私たちは、子どもたちの笑顔や、「楽しかった。」「よくわかった。」という声に支えられ、また、学校からも「来年もお願いします。」という要望に励まされ頑張っています。

また、小学校の先生を対象にした「珠算指導法講習会」を平成26年度まで開催し、昨年は、大分市教育センター主催の「そろばん指導法セミナー」に年3回講師をボランティア派遣するなど、そろばんの楽しさ、すばらしさを体験してもらい、日本の伝統文化を伝えていく活動に会員みんなで励んでいます。

代表者 生野 靖生



平成28年度 大分市ボランティアセンター事業

大分市ボランティアセンターでは、「支えあって ともに生きる みんなが主役のまちづくり」の実現をめざして、ボランティア活動の活性化と定着を図るため各種事業を推進しています。

事業	内 容
市民啓発	ミニ情報誌「ボランティアだより」を年3回発行し、事業の紹介、グループ紹介、活動参加の呼びかけなどを広報します。
相談	ボランティアの活動をしたい人、支援を受けたい人などの相談をお受けします。
活動支援	ボランティア活動の登録促進、活動先紹介などをします。
	ボランティア活動助成金を交付します。
	大分市ボランティア連絡協議会の活動を支援します。
養成研修	点訳ボランティア養成講座（4月～3月 すでに開講しています。）
	朗読ボランティア養成講座（9月～1月 予定）
	施設ボランティア体験事業（年間を通して福祉施設等での体験ができます。また、夏休み期間中は大分県社協と共催で実施しています。）
福祉教育支援	小中学校で福祉学習講座を実施し、車いす体験や盲導犬とのふれあいなどを通して福祉を学びます。
災害支援	災害ボランティアの登録、育成、ネットワークづくりなどを推進します。
その他	車いす貸出事業（最長6ヶ月）
	使用済切手・カード、書き損じハガキなどの取り扱い
	ボランティア活動保険加入手続きなど

点訳ボランティア養成講座が始まりました

第36回平成28年度点訳ボランティア養成講座の開講式が、14名の受講生を迎え、4月14日（木）ホルトホール大分4階ボランティアルームで行われました。

この講座は、障がい者の福祉に関心のある方を対象に点訳ボランティアを養成し、視覚障がい者の福祉の増進を図るのを目的に開催しているものです。この日早速、麻生雅代先生の指導のもとでオリエンテーションを行い、講座がスタートしました。

受講生は、今後45回の講座を受講し、終了時には、その成果として受講生全員で1冊の本を点訳することになっています。



ボランティアだより（発行元・お問い合わせ）

社会福祉法人 大分市社会福祉協議会 地域福祉課 大分市ボランティアセンター

〒870-0839 大分市金池南1丁目5番1号 ホルトホール大分4階

TEL：(097)547-7419 FAX:(097)547-9559 E-mail：volun@oita-syakyo.jp

開所日時：月～土曜日 9時～18時 【ただし、第2・4月曜日（祝日の場合は翌日以降の平日）及び祝祭日、12月29日～1月3日は除く】